

(別紙-2-②)



令和6年3月18日

倫理委員会委員長
山西 千晶 様

研究倫理審査申請書

下記の内容の研究および発表を取り組むために、倫理委員会での審査をお願いいたします。

【受付番号 R6-1】



申請日	令和6年3月18日	
申請者 (実施責任者)	氏名	木村千穂 
	所属	8病棟
	職名	看護師
所属長	氏名	木村千穂 
研究テーマ	テーマ：重症心身障害児施設における誤嚥性肺炎の予防に効果的な口腔ケアに向けた取り組み 詳細は別紙添付	
発表先	学会報告	(学会名) 第49回日本重症心身障害学会 (開催日) 令和6年11月8日(金)9日(土) (発表セッション) 一般演題 口演またはポスター発表
	誌上発表	単著・共著 (出版誌名) (論文タイトル)
その他		

令和 6 年 3 月 18 日

倫理委員会委員長
山西 千晶 様

研究計画書

【受付番号 R6-1】

申請日	令和 6 年 3 月 18 日	
申請者	氏名	木村 千穂 
	所属	8 病棟
	職名	看護師
所属長	氏名	木村 千穂 
研究者	木村 千穂、浦野 真貴、伊堂寺 良子	
発表先	学会報告	(学会名) 49 回日本重症心身障害学会 (開催日) 令和 6 年 11 月 8 日 (金) 9 日 (土) (発表セッション) 一般演題 口演またはポスター発表
	誌上発表	単著・共著 (出版誌名) (論文タイトル)
研究テーマ	重症心身障害児施設における誤嚥性肺炎の予防に効果的な口腔ケアに向けた取り組み	
研究に取り組む経緯	(<input type="radio"/>) 自発的研究 (<input type="checkbox"/>) 講演、執筆等の依頼研究 依頼機関 _____	
研究方法	量的研究	
倫理的配慮	センター利用者の研究協力	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 * 有 (個人 / 名 ・ <u>不特定多数</u>)
	研究目的・方法の説明	本人へ説明を (<input type="checkbox"/>) 行った (<input type="checkbox"/>) 本人了承済み (<input type="checkbox"/>) 本人の意思確認が困難 保護者へ書面等で説明を (<input type="checkbox"/>) 行った (<input type="checkbox"/>) 行っていない
	研究協力同意の確認	「研究発表における個人情報使用同意書」で (<input type="checkbox"/>) 確認済み (<input type="checkbox"/>) 未確認

重症心身障害児者施設における誤嚥性肺炎の予防に効果的な
口腔ケアに向けた取り組み

木村 千穂
浦野 真貴
伊堂寺 良子

1. はじめに

重症心身障害児者(以下、重症児者と略す)は、年齢とともに身体の変形が進み、廃用症候群から呼吸障害や嚥下障害を引き起こすことが多く、その結果、誤嚥性肺炎の発症に繋がることも少なくない。

口腔ケアは、重症児の舌の動きや口腔内環境の変化を介護者が把握できるとともに、口腔内細菌数を減少させて誤嚥性肺炎を予防するという目的を持った重要なケアである。一方、当重症児者施設の8つの病棟での口腔ケアの方法は統一されておらず、利用者一人ひとりに適した口腔ケアが行えていない可能性がある。

そこで今回、現在当施設における各病棟の口腔ケア方法を調査し、利用者の口腔内評価及び誤嚥性肺炎発症との関連性を比較検討したいと考えた。

2. 研究目的

重症児者の誤嚥性肺炎の予防的な口腔ケア方法を構築する

3. 研究方法

- ① 対象者 枚方総合発達医療センター利用者全員
- ② 研究期間 2023年4月から2024年5月
- ③ 各病棟における口腔ケア方法を把握し、RST アセスメントにおける口腔評価との比較検討
- ④ 誤嚥性肺炎を起こされている利用者の口腔内評価との関連性(口腔乾燥・歯垢及び食物残渣・舌苔・粘膜の付着物・潰瘍)を検討する事で、誤嚥性肺炎を起こしやすい口腔ケアの問題点の洗い出し

4. 倫理的配慮

データとして集計する為、個人が特定されない形で集計する。その際は電子カルテを用いる。オプトアウトで了解を頂けている事を確認し、拒否の方は除外する。

個人が特定できないデータ管理は専用のUSBで行い、センターから持ち出しはしない。